

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (竹原市立荘野小学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第5学年
- ③ 単元名 「注文の多い料理店のひみつ」パンフレットを作ろう
～ 物語のおもしろさを味わおう 「注文の多い料理店」～
- ④ 単元の目標 登場人物の心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。
- ⑤ 単元の指導計画 (全10時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (観点) (評価方法)
第一次「物語の全体をとらえる」(3時間)		
1 題名から物語の内容を想像し，初発の感想を持ち，学習の見通しを持つ。	・題名から話の内容を想像させ「注文の多い」とはどういうことか考えさせ，「注文の多い料理店のひみつパンフレットを作ろう」という学習の目的をつかませる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的を捉え，意欲的に読もうとしている。〔国語への関心・意欲・態度〕(ノート) ・作品の設定をつかんでいる。〔読む能力〕(パンフレット)
2 物語全体を読み，作品の設定をとらえる。	・作者の伝えたいことや，ことばのおもしろさ等に注目させ，初発の感想を書かせる。	
3 13の注文を整理し，物語の構造を読み取る。	・場面分けを行い，ふしぎな世界への入り口を見付けさせる。 ・13枚の注文の内容の変化に気付かせ，6つの場面に分けさせる。	
第二次「人物の気持ちの変化，物語のおもしろさを読み取る」(4時間)		
4 } 場面ごとの2人の紳士の心情 5 } を読み取ったり，おもしろい表現 6 } を抜き出したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の紳士の会話に着目し，人物像をまとめさせる。 ・戸に書いてある言葉と文字の色や2人の紳士の会話から2人の紳士や山猫の心情を読み取らせる。 ・1場面と6場面の紳士の言動を比較し，最後の1文を通して，作者の伝えたいことを考え自分の言葉でまとめさせる。 (例) 自分の都合のいいようにばかり考えていると失敗する。 人間は，動物や自然の力を知り，大切にすべきだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・注文の言葉から2人の紳士や山猫の心情を読み取っている。 ・作者からのメッセージを読み取っている。〔読む能力〕(パンフレット)
7 6場面の2人の紳士の心情を読み取り，作者の伝えたいことを考える。		
第三次「『注文の多い料理店のひみつ』パンフレットを完成させよう」(3時間)		
8 パンフレットの中に，並行読書をした本の紹介文を書く。	・並行読書をしてきた本について，注文の多い料理店との相違点に着目しながら読書郵便を書かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・物語のひみつを自分の言葉で表現している。〔読む能力〕(パンフレット)
9 「注文の多い料理店のひみつ」パンフレットを完成させる。	・これまでの学習をまとめてきたパンフレットを完成させる。	
10 できあがった物語の紹介パンフレットを交流する。	・完成したパンフレットを読み合い，感想を交流する。	

【言語活動の充実①】

【言語活動の充実②】

設定した言語活動を通して育てたい力

- 登場人物の心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめる。
- 物語にこめられた作者のメッセージをつかみ，他の作品と比べて読む。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 叙述を根拠に作品のおもしろさ(ひみつ)を読み取らせるために発問を工夫する。
- 言語活動と関連させた読解指導となるよう，パンフレットを活用させる。
- 宮沢賢治さんの他作品の並行読書を行い，作者からのメッセージをつかませる。